

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月27日

計画の名称	吉野ヶ里町における防災・安全の下水道事業計画（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）											
交付対象	吉野ヶ里町											
計画の目標	下水道施設の快適な整備更新を行うことで、公共用水域の保全を図りながら、住民に良好かつ持続的なサービスを提供し、快適な暮らしを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	875	A	875	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					令和3年度当初	令和5年度末	令和7年度末
1	下水道ストックマネジメント計画に基づく処理場の更新対策実施率を 50.0% (R2末) から100% (R7) に増加させる。 処理場施設の更新及びストックマネジメント対策実施率 更新及びストックマネジメント対策済の機器（機） / 更新及びストックマネジメント対策すべき機器（機）	50%	75%	100%			
2	処理場の耐震化の実施率 0.0% (R2末) から100% (R3) に増加させる。 処理場の耐震化の実施率 耐震化済みの処理場の施設数（箇所） / 耐震化すべき処理場の施設数（箇所）	0%	100%	100%			
3	下水道施設の耐水化実施率 0.0% (R2末) から100% (R7) に増加させる。 浸水の恐れがある処理施設の耐水化実施率 耐水化済みの処理場の施設数（箇所） / 耐水化すべき処理場の施設数（箇所）	0%	25%	100%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R03	R04	R05	R06	R07		
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター	機械、電気設備 改築(改築・更新)	吉野ヶ里町						525		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町ストックマネジメント計画変更	ストックマネジメント計画変更	吉野ヶ里町						40		未策定
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター	耐水化計画策定、耐水化 耐水化	吉野ヶ里町						150		-
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター	管理棟等3件の施設の耐震化 耐震化	吉野ヶ里町						160		-
												小計						875	
												合計						875	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	215				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	215				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	215				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 吉野ヶ里町における防災・安全の下水道事業計画（防災・安全）

事 前 評 價	チェック欄
I . 目標の妥当性 計画の目標が事業計画と適合している。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 整備計画の具体性など、事業熟度が十分である。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 継続的な下水道事業の展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>